

県産材を使った椅子とテーブルを寄贈していただきました

福島県では、県産材の利用を促進するため、県産材利用の必要性を広く県民に普及啓発する『ほっと』スペース創出事業を実施しており、今年度は伊達市保原町にある白井木工所の白井貴光社長が代表を務める、伊達クラフトセンターが指定され、保原高校美術部の皆さんと協力し製作した木製のテーブルと椅子を寄贈していただきました。



3月20日の贈呈式には、甲斐敬市郎福島県北農林事務所長も臨席され、ご挨拶をいただきました。木村秀夫院長が高校生から目録を受け取り、公益財団法人仁泉会佐藤喜三郎理事長より「皆さんの豊かな感性が見事に結実している作品を大切に使用してもらおう」とお礼のことばを述べました。



右側から、読書などをする際、読みやすくするため天板で傾きを作れるようにしたテーブル、座った人が自然に包みこまれて安らぎの空間を感じられるようにデザインされた椅子、木目と丸い形をたくさん取り入れて温かみを出したテーブル、木の素材を生かして親子一緒に座れるようにデザインされた椅子など、自分の作品に込めた思いとともに描かれた絵も、合わせて展示しています。

高校生が描いた作品の絵とともにオーチャードホールに設置しておりますので、どうぞご利用下さい

CONTENTS



あゆみ病棟

木製椅子とテーブルの贈呈式	1
予防健診センターのご紹介	2
第84回地域けんこう講座のご案内	3
栄養科から	3
平成27年度入所式	4
お知らせ	4

予防健診センターをご紹介します

皆様こんにちは。リエゾン初登場の、予防健診センターです。

私共は、健診部として昭和61年にスタッフ4名から始まりました。人間ドックや企業の健康診断を中心に幅広い健診事業を行っております。現在では、スタッフ数も9名となり、年間16,000件（人間ドック3,000件、企業健診5,000件、住民検診・器官別健診8,000件）の皆様にご利用頂いております。

そうした中で近年、リスク（その疾病になる確率がどの位あるか）検査が世に出始めました。「3大死因」とも呼ばれている「がん」「心疾患」「脳梗塞」についても、リスク（その疾病になる確率）が分かれば事前に予防することができます。いずれも採血で済む簡単な検査のため、身体に負担なく受けられます。そのため、現在、ドックや健診と併せて検査をする方が増えております。当センターは、ご自分の健康管理をより詳しく知りたい方の為に、これらの新しい「オプション検査」に取り組んでおります。

がんリスク検査(採血のみ)

検査項目・・・アミノインデックス(血液)検査

男性 ⇒「胃がん」「大腸がん」「肺がん」「前立腺がん」の4項目

女性 ⇒「胃がん」「大腸がん」「肺がん」「乳がん」「子宮がん」の5項目

がん

脳梗塞、心疾患リスク検査(採血のみ)

検査項目・・・脳梗塞リスク(血液)検査、BNP(血液)検査、
血圧脈派(動脈硬化)検査、

脳血管疾

心臓疾

■お問い合わせ■

予防健診センター Tel 024-551-0109 (直) fax 024-551-0555

ちょっとご紹介

人間ドックでは、検査後に食事を準備しております。
栄養士と共同で奮闘すること一年！
新作メニューでお待ちしております。



私たちが皆様の健康をサポートさせていただきます。
“笑顔と安心をモットーとして”

第84回地域けんこう講座のご案内

今月のお話

女性に多い病気、 「乳がん」について知ろう！

現在、日本人女性のおよそ15人に1人が一生のうちに乳がんと診断とされています。一方で、乳がんは早期発見であるほど治癒率が高い病気です。また、がんが小さいうちに発見できれば女性にとって大切な乳房を温存できます。早期発見につなげるためにもセルフチェックや[定期的な乳がん検診](#)を心がけましょう！



- 日 時:平成27年4月25日(土)午後2時～午後3時頃まで
- 場 所:北福島医療センター 1階オーチャードホール
- 講 師:北福島医療センター 乳腺疾患センター
副センター長 安田 満彦 医師

栄養科から

3月3日のひな祭りにいくら寿司を患者様にお届けしました。

女の子の健やかな成長を願って、桃色の食材を多く取り入れた春を感じる献立に仕上げました。

患者様からはまぐり汁の旨みを舌で味わい、いくらのお食感を楽しめたと大好評でした。日本の食材の豊かさを改めて感じた1日でした。

4月には、入院患者様を対象にした手作り白玉団子作りや、パンのワゴンサービスなどを企画しております。



平成27年度入所式を行いました



4月1日、平成27年度の公益財団法人仁泉会入所式をオーチャードホールで行いました。

今年度は、北福島医療センター15名、セントクリニック2名、プライムケ桃花林5名、梁川病院1名、伊達市保原地域包括支援センター1名の24名が入職しました。北福島医療センターには、看護師5名、薬剤師3名、診療放射線技師1名、理学療法士5名、言語聴覚士1名が配属されました。

新入職員は、公益財団法人仁泉会 佐藤喜三郎理事長から辞令を受け取り、職員の一員となりました。

お知らせ

〈北福島医療センターでは〉

- 4月より3名の先生を迎えることになりました
- 麻酔科 宮田 章正(みやた あきまさ) 先生
- 外科 芦澤 舞(あしざわ まい) 先生
- 血液内科 原田 佳代(はらだ かよ) 先生
- ※来月号でご紹介いたします

〈保原中央クリニックでは〉

- 糖尿病教室 4月17日(金) 10:30~11:30
『血糖値のお話し』 日本糖尿病療養指導士がお話しします。
- ふれあいの日 4月14日(火) 10:00~12:00
『きめこみで作る 端午を飾るタペストリー』 (有料400円)



●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenkai.or.jp
URL http://www.jinsenkai.or.jp